

# 兵庫の林業

2015. 4 No. 272



## もくじ

就任のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1  
「ひょうご木づかい王国」  
が開国します！・・・・・・・・・2

平成27年度

林務課予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

治山課予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

自然環境課予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

豊かな森づくり課予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

△普及だより▽

提案型集約化施策を推進するための

コスト分析への支援と作業道開設に

かかる現地検討会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

△森林ボランティア活動▽

里山放置林を市民の憩いの森・

自然体験学習の森へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

狩猟免許試験のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

林業作業士 十九名誕生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

技能講習会等のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

兵庫の巨樹・巨木(13) (裏表紙)

題字・・・・ 兵庫県知事 井戸敏三氏

### 表紙の写真

川西市北部、黒川地区のエド  
ヒガン(桜)です。

荒れた森に埋もれていたサクラは、ボランティアの保全活動により見事に花を咲かせました。

「にはんの里100選」に選ばれたこの地区では、里山保全や茶道文化を支える炭(菊炭)焼きにより、日本一の里山の景観を維持しています。

## 豊かな森づくり課長

### 就任のご挨拶

太田 雄一郎



豊かな森づくり課では、県民共通の財産である森林を「県民総参加」で守り、育て、活かし、拡げる取組を推進する「新ひょうごの森づくり」、並びに近年、局地的な集中豪雨による激甚な山地災害の発生を踏まえ、森林の有する国土保全機能を維持強化する「災害に強い森づくり」の二本柱により、兵庫の豊かな森づくりを推進しています。

「新ひょうごの森づくり」については、平成24年度から第2期対策として、①「公的関与による森林管理の徹底」②「多様な担い手による森づくり活動の推進」を基本方針に、経済林の再生と共に森林の持つ公益的機能の高度発揮を図っているところです。

①については、「森林管理100%作戦」による間伐の徹底や、条件不利地の間伐を進める「森林間伐

道850kmプラン」に基づき、作業道開設支援を継続します。②については、森林ボランティア活動の強化を図るリーダー養成講座の開催や、社会貢献活動として森づくりに取り組む企業に対し、活動地の斡旋などの支援、加えて地域住民等が里山林の管理や森林資源を利活用する活動について助成を行います。

また、第2期対策としての「災害に強い森づくり」では、森林の有する防災機能の強化を早期・確実に進めるため、緊急防災林整備、里山防災林整備、針葉樹林と広葉樹林の混交林整備、野生動物育成林整備、住民参画型森林整備、広葉樹林化促進パイロット事業の各事業を実施しています。昨年8月の豪雨災害の教訓を活かすと共に、シカ等による農作物及び森林下層植生の被害区域拡大を踏まえ、第2期最終年の本年度は、事業の推進とともに、事業の方向性について検討し、広く県民の皆様にお知らせしたいと思えます。

今後とも一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 豊かな森づくり課

### 森林保全室長就任のご挨拶

山口 和範



平素は、保安林制度及び林地開発許可制度の適正な運用や森林病虫害被害対策の推進など、森林保全室所管の業務にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。近年、全国各地で集中豪雨が頻発しており、土砂崩れや洪水等の被害が懸念されています。このような中、「森を守る」森林保全に対する期待もますます高まってきているところです。

保安林制度につきましては、治山事業施行に伴う保安林の指定のほか、原木の安定供給や間伐の推進を目的とした指定施業要件の変更により適切なスピードで事務を進めていきます。

林地開発許可制度につきましては、特に再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した太陽光発電施設の設置に係る相談・申請案件が県南部を中心に増加してお

り、適切な対応に努めます。

松くい虫被害対策につきましては、効率的・効果的な薬剤の空中散布を箇所を厳選して実施している一方、ひょうご元気松（抵抗性アカマツ）の植栽事業など薬剤散布以外に取り組んでいます。

ナラ枯れ対策では、減少していた被害量が昨年は増加に転じ、県南部への拡散も進む等、被害のまん延化に予断を許さない状況にあります。そのため、毎春秋に「県ナラ枯れ被害対策連絡会議」を開催し、国、県、市と関係機関が連携・協力して被害対策に取り組んでまいります。

また、緊急雇用創出事業を活用しました「里山森づくり担い手支援事業」を今年度も実施します。間伐のほか、枯れ松や放置竹林の整備、被害調査等を通じて、森林整備全般にわたる技能を有する人材を育成し、地域における継続的な雇用の創出を図ります。

森林・林業に携わっておられる皆様方には、様々な場面でご支援をお願いすることになると存じますが、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 「ひょうご木づかい王国」が開国します！

～ 県産木材の利用促進について ～ 兵庫県林務課

県では、県産木材の利用を促進するため、従前から①公共施設等の木造・木質化の推進、②県産木材を利用した木造住宅の建設促進、③身近な木製品を活用した普及啓発活動の推進などに取組んできました。

平成27年度からは県民向けに「ひょうご木づかい王国」として、木材に関する総合的な情報発信等にも取組んでいきます。

## 1 公共施設等の木造・木質化

平成26年度は県・市町の36施設で木造・木質化が実現しました。

また、県及び市町において順次木材利用方針を策定しており、現在県及び35市町で策定済（策定率85%）ですが、神戸・阪神間の市では策定が遅れており、引き続き県下全市町での方針策定を目標に取り組んでいきます。

## 2 県産木材を利用した

木造住宅の建設促進

好調な利用が続いている長期固

定低利ローンである兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度についてはさらに拡充（詳細は下記参照）し、より利用しやすくします。また、ひょうご木づかい王国ポイント事業（詳細は左記及び下記参照）により、県産木材を利用した木造住宅の建設を促進します。

## ◆ひょうご木づかい王国

ポイント事業

県産木材を使って県内に居住するための住宅を新築・リフォーム等する方に、県内農林水産品と交換できるポイントを付与する兵庫県版木材利用ポイント事業です。

## 3 身近な木製品を活用した

普及啓発活動

神戸ハーバーランドモザイクに「ひょうご木づかい王国学校」を開校し、木製玩具・遊具に自由に触れられるコーナーのほか、木材に関する情報の発信や住宅相談会、ワークショップ等のイベントを開催します。

また、県下各地の幼稚園やイベント等に出向く木育キャラバンも実施します。  
これらのほか、古くなった賃貸住宅を活用した県産木材リノベーションモデルルームを活用した住宅用内装材のPRやリフォーム相談会等を実施します。

## ひょうご木づかい王国ポイント事業

対象工事：県内で居住するための新築、増改築、既存住宅長寿命化、リフォームの工事

<条件> 県産木材を50%以上かつ5㎡以上使用

県内に事業所を有する施工業者が施工

リフォームの場合は内外装木質化9㎡以上

または県産木材使用量0.5㎡以上

H27年3月～12月末の間に契約締結

付与ポイント：新築、増改築等 150,000ポイント

リフォーム 30,000ポイント

※1ポイント=1円相当

ポイント交換対象：神戸ビーフ、雪姫ポーク、松葉ガニ、

ひょうごのお米等の県産農林水産品

ひょうご木づかい王国ポイント

検索

## 兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度のご案内 ～兵庫県産木造住宅ローン～

県内に居住するため県産木材を利用した木造住宅を新築、増改築、既存住宅長寿命化、リフォームする場合、兵庫県独自の長期固定低金利の住宅ローンがご利用いただけます。

・融資利率 0.8% (H27年4月1日現在)

・返済期間 25年以内 (県産木材60%以上使用し、長期優良住宅の認定を受けている場合には35年以内に延長。ただし、26年目以降融資利率1.8%)

・融 資 額 新築、増改築、既存住宅長寿命化 (大規模リフォーム/リノベーション)

県産木材利用率50%以上1,500万円以内 60%以上2,000万円以内 80%以上2,300万円以内

(県産粘土瓦使用で+200万円、環境配慮型住宅で+500万円上乗せで最高3,000万円)

リフォーム：500万円 (県産粘土瓦使用で+200万円、環境配慮型住宅で+200万円上乗せ)

兵庫県 木造住宅ローン

検索

※詳しくはパンフレットまたは県HPをご覧ください。林務課へお問い合わせください。

林務課木材利用班 Tel.078-362-9224

主的な取り組みを支援するとともに、合併等の促進による経営基盤と執行体制の強化を図る。

森林組合等経営基盤強化対策事業 2,226千円

【拡】森林組合機能強化資金貸付  
400,000千円

### (3) 林業・木材産業の経営基盤の強化

林業・木材産業事業体に対して、低利・無利子の資金を融通することにより、林業及び木材産業の健全な発展、木材生産及び流通の合理化の促進を図る。

林業・木材産業改善資金貸付金 150,000千円

林業振興資金利子補給事業 1,113千円

木材産業等高度化推進資金 600,220千円

特用林産振興事業 250千円

県産木材利用促進特別融資事業  
(製材用原木の取扱に係る運転資金)  
300,000千円(再掲)

## 3 県産木材の供給体制の整備と利用拡大

### (1) 県産木材の供給体制の整備

県産木材の加工流通を担う事業体に対し、失業者を新たに雇用した人材育成を支援するとともに、品質向上や供給体制の確立に向けた普及活動等を行い、原木の安定供給及び利用体制の確立を図る。

【新】ひょうご県産木材利用拡大事業 21,600千円

県産木材供給体制整備推進事業 500千円

### (2) 県産木材の利用拡大

#### ① 公共施設等の木造・木質化の推進

展示効果が見込める公共施設等の木造化、木質化を進めるほか、CLT(直交集成板)やTajimaTAPOS(高強度梁桁仕口)等の新たな木材利用技術を普及啓発する。

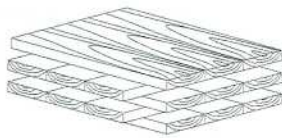
木の香るまちづくり事業 250,000千円

【緊急】木造公共施設等整備 補215,000千円

【緊急】新規用途導入促進支援 補12,000千円

【新】CLT(直交集成板)技術等普及啓発事業

補11,200千円



CLT(直交集成板)

### ② 県産木材を使用した住宅の建設促進

長期固定で低利な融資制度(年利率0.8%)や新築住宅等の際に県内農林水産品等と交換できるポイント付与による県産木材利用住宅の建設促進を図るとともに、「木の匠」登録制度の普及、及び住宅コンペによる優れた木造住宅の顕彰による工務店の県産木材利用意欲の喚起を図る。

【拡】県産木材利用木造住宅特別融資事業  
19,086,959千円

【新】ひょうご木づかい王国ポイント事業  
補220,000千円

県産木材利用住宅建設促進事業 1,620千円

【拡】森からまちへ木材利用促進事業 293千円

### ③ 暮らしに身近な木製用品を活用した普及啓発

県産木材を使用した住宅内装材や木製学習机、玩具など多様な木材利用を提案するほか、幼稚園・保育園等での「木育キャラバン」を実施する。

暮らしの中に木材を取り入れる運動推進事業

うち木製用品利用拡大 1,050千円

うち【新】木育キャラバン実施 1,210千円

### ④ 木質バイオマスの利用促進

木質バイオマス発電施設やチップ工場、ボイラー等の施設導入等に対して支援するほか、未利用間伐材等の仕分け、乾燥に必要な山土場整備や、一般材と比べ掛増しとなる輸送コストに対して支援する。

【緊急】木質バイオマス利用施設整備等  
補484,050千円

【新】【緊急】木質バイオマス発電施設整備  
※資金融通 930,000千円

バイオマスヤード整備事業 3,600千円

木質バイオマス輸送コスト支援事業  
11,100千円

県産木材利用促進特別融資事業  
(バイオマス燃料用木材の取扱に係る運転資金)  
300,000千円(再掲)

平成27年度 林務課 主な事業 当初予算額

一般会計 24,467,218千円(対前年度比118.0%)

(+補正) 26,341,218千円(対前年度比126.2%)

## 平成27年度 林務課予算の概要

本県の民有人工林約22万haのうち、伐採・利用が可能とされる46年生以上の森林が約14万haと64%を占めるなど、森林資源の成熟化が進んでいます。また、県内で複数の木質バイオマス発電施設の稼働が計画されており、新たな木材需要が見込まれています。

県では、建築用材から木質バイオマス発電用材まで、品質に応じた森林資源のフル活用を図るため、林内路網等生産基盤整備や木材生産能力の高い林業事業体の育成などにより、伐採→利用→植栽→保育が円滑に循環し、新たな需要にも対応できる資源循環型林業を推進します。

また、景気の回復を確かなものにするため、国の補正予算を活用して、木材の需要拡大に向けた消費喚起やCLTなどの新技術の普及啓発に取り組みます。

### 凡 例

【緊急】：森林林業緊急整備事業（県事業名）

〔補〕：平成26年度県補正予算措置分（経済対策）

## 1 多面的機能の発揮に向けた森林整備

### (1) 多様な森林の整備

人工林のうち、育成単層林については、気象災害等に配慮しつつ、間伐等を推進するとともに、地形や地質等により条件の悪い森林については、針広混交林化や天然林へと誘導する等、多様な森林の整備を図る。

地域森林計画策定事業	40,431千円
造林事業	1,160,000千円
造林事業	〔補〕82,000千円
重要水源林機能高度化事業	22,000千円

### (2) 施業集約化の促進

森林施業の集約化を促進するため、森林経営計画の作成や森林境界の明確化等を支援する。

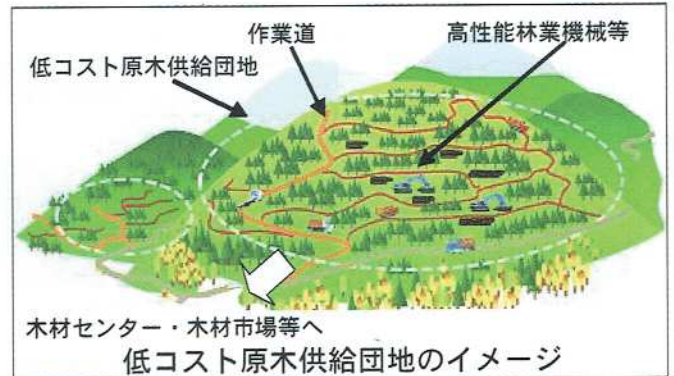
森林整備地域活動支援事業	128,046千円
【緊急】森林境界の明確化	〔補〕67,500千円

### (3) 生産基盤の整備

（協）兵庫木材センターを含めた製材工場等に必要とされる256千m<sup>3</sup>/年の原木に加え、木質バイオマス発電向けの燃料用として必要と見込まれる170

千m<sup>3</sup>/年を合わせた426千m<sup>3</sup>/年の原木を低コストで安定的に供給できる基盤を整備するため、森林施業の団地化、林内路網の整備、及び機械化などを支援する。

【緊急】林内路網整備	〔補〕4,000千円
森林資源活用システム整備事業	47,700千円
【緊急】高性能林業機械等の導入	〔補〕33,580千円
県産木材利用促進特別融資事業 （高性能林業機械等導入資金）	300,000千円



## (4) 林業技術の普及

林業普及指導員による林業技術の普及指導活動や高性能林業機械等の林業技術研修、指導林家等・山村リーダー研修等を通じて、地域リーダーや後継者を育成する。また、市町村森林整備計画や森林経営計画の作成実行を技術面で市町を支援する「地域森林総合監理士（フォレスター）」を育成する。

林業技術普及費	3,876千円
---------	---------

## 2 林業の担い手の育成

### (1) 林業労働力の育成・確保

収益性の高い低コスト林業経営モデルの確立に向け、林業事業体における経営者の企画能力、集約化を進める森林施業プランナーの実践力、現場技能者の生産能力を高めるとともに、林業労働者の就労環境の改善、労働安全衛生の向上を図る。

【新】林業三つ星経営体育成事業	3,440千円
林業労働力育成対策事業	1,406千円

### (2) 森林組合の育成

森林所有者の協同組織として活動している森林組合の事業活動を強化し、中核的担い手として育成するため、利用事業の展開や経営改善などの自

# 平成27年度 治山課

## 予算の概要

県下各地で頻発する豪雨等による山地災害に備え、治山事業に積極的に取り組み、山地に起因する災害から県民の生命財産の保全を図ります。

特に、昨年8月の豪雨災害を教訓に、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画」を拡充し、治山ダム等の整備を強力に進めるほか、地すべり防止対策、山腹崩壊防止対策、森林整備等を推進します。また、山地災害危険地区の周知、山地防災教室の開催、住民の防災活動への支援など、県民の避難行動に役立つ情報提供や防災知識の普及啓発等を通じて、地域の防災力の向上を図り、総合的な山地防災・減災対策を推進します。



土砂・流木を捕捉した治山ダム (丹波市)

林道事業については、「資源循環型林業の構築」に向け、間伐等の適切な森林整備の推進、県産木材の安定供給を図るとともに、木質バイオマス燃料等の新たな原木需要にも対応できるよう、「新ひょうご林内路網1,000km整備プラン」に基づき、林内路網の骨格となる森林基幹道・過疎代行林道(森林管理道)の整備を促進します。また、森林基幹道を利用して、効率的な木材搬出等を推進するため、沿線において路網拠点施設を整備します。



全線開通した「八木谷・大谷線」からの木材搬出 (養父市)

### 1 治山対策の推進

#### (1) 第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(平成26～30年度)の拡充

昨年の丹波災害では、流木被害により洪水被害等が連鎖的に拡大したことから、流木・土砂流出防止対策の治山ダムを加速して整備するとともに、被災した丹波市の復旧対策を追加する。

区分	当初(基数)		拡充(基数)	
	全体	H27	全体	H27
人家保全対策	350	70	350	70
流木・土砂流出防止対策	130	26	194	42
8月豪雨災害対策	0	0	36	0
計	480	96	580	112

#### (2) 山地災害危険地区の総点検

未整備の山地災害危険地区やその周辺山地の溪流を対象に、点検を実施する。

#### (3) 治山施設の維持管理・機能強化対策

治山施設の老朽化点検結果を踏まえ、施設毎の長寿命化計画(個別施設計画)を策定し、施設の維持・機能強化対策を計画的に進める。

#### (4) 「新ひょうごの森づくり」第2期計画の推進

森林の過密化により林床植生が消滅し、表土流出による等、機能が低下した保安林を対象に、本数調整伐等の森林整備を推進する。

#### 【治山事業費】

公共治山事業費	4,153,713千円
治山施設災害復旧事業費	10,000千円
県単独治山事業費	256,000千円
県単独緊急防災事業費	1,280,000千円
合計	5,699,713千円
(別途26年度補正予算)	44,000千円

### 2 林道整備の促進

#### (1) 県営林道の開設・改良

林内路網の骨格となる森林基幹道2路線(須留ヶ峰線、千ヶ峰・三国岳線)及び過疎代行林道(森林管理道)1路線(前地・カンカケ線)でコスト縮減や環境に配慮しながら開設促進を図る。

#### (2) 路網拠点の整備

森林基幹道と作業道を接続させるための支線林道や木材の集積作業土場等の路網拠点を4箇所で設置する。

#### (3) 林道施設の維持管理・長寿命化対策

車両の安全な通行を確保するため、巡視や側溝清掃等の維持管理対策やアスファルト舗装、法面保護工等の改良工事を実施する。

また、橋梁等の施設について、長寿命化計画を策定し、施設の老朽化対策を計画的に進める。

#### 【林道事業費】

公共林道事業費	888,249千円
公共林道事業費(管理費)	58,047千円
林道施設災害復旧事業費	165,965千円
県単独林道事業費	340,400千円
合計	1,452,661千円

### 3 里山防災林整備(災害に強い森づくり)

集落裏山にある里山林の山地防災機能向上のため、危険木除去等の森林整備や丸太柵工等の簡易防災施設の整備を実施する。

(予算額等は豊かな森づくり課予算の概要参照)

平成27年度 治山課 主な事業 当初予算額	7,152,374千円 (対前年度比107.9%)
(+補正)	7,196,374千円 (対前年度比108.5%)

平成27年度 自然環境課  
(野生鳥獣対策関連) 予算の概要

野生動物対策の推進

地域の実状に応じた野生動物の生息地管理、個体数管理、被害管理を総合的・科学的かつ計画的に進める“ワイルドライフ・マネジメント”に取り組むことにより、農林業等への被害軽減を図るとともに、シカ肉等の有効活用を図り、人と野生動物との調和のとれた共存をめざす。

1 シカ・イノシシ対策の推進

農林業被害の軽減と被害地域拡大の防止を図るため、平成26年度に引き続き、捕獲目標頭数を3万5千頭とし、国庫交付金及び鳥獣被害防止特別措置法等に基づく特別交付税措置を最大限活用しつつ、捕獲及び防護柵設置等の対策を進める。

- (1) シカ捕獲の拡大 196,121千円
- ・シカ有害捕獲促進支援事業 49,521千円
  - ・シカ有害捕獲専任班支援事業 33,600千円
  - ・狩猟期シカ捕獲拡大事業 113,000千円

- (2) シカ肉の流通促進と需要拡大 36,928千円
- 捕獲したシカを肉・皮・骨など丸ごと1頭有効活用するため、狩猟者、処理加工施設、レストラン等で構成するネットワークを設立して、シカ肉の安定供給や普及啓発に取り組むとともに、捕獲したシカの処理加工施設への運搬に対する支援を行う。

- ・シカ丸ごと1頭活用作戦【新規】 3,928千円
- ・シカ肉処理加工施設整備等支援事業 33,000千円



【シカ肉料理教室（大阪ガスクッキングスクール）】

(3) イノシシ対策の強化

地域住民主体の捕獲体制の構築や地域に応じた対策を確立することにより、被害の軽減を図る。

- ・イノシシ捕獲プロジェクト【新規】 6,208千円

(4) 防護柵の設置等支援

- ・鳥獣被害防止総合対策事業 470,522千円
- ・野生動物防護柵集落連携設置事業 50,000千円
- ・野生動物捕獲用わな緊急整備事業 467千円



【防護柵と一体的に整備された箱わな（豊岡市）】

2 狩猟後継者の育成・確保 14,155千円

鳥獣捕獲の主たる担い手である狩猟者の減少・高齢化により捕獲従事者が不足する中、鳥獣保護管理に携わる人材の育成及び捕獲体制の強化等を重点課題として取り組む。

- ・有害鳥獣捕獲活動実施体制構築事業 11,813千円
- ・狩猟後継者確保育成事業【拡充】 1,342千円
- ・狩猟技能向上促進事業 1,000千円

3 その他の鳥獣対策の推進

「特定鳥獣保護計画・管理計画」に基づき、生息数の安定維持を目指した個体数管理、被害管理、生息地管理等を進める。また、近年増加している特定外来生物（アライグマ、ヌートリア）の捕獲を進める。

- ・アライグマ分布拡大ストップ作戦【新規】 2,073千円
- ・ストップ・ザ・獣害 23,000千円
- ・ツキノワグマ出没総合対策事業 1,061千円
- ・サル出没対策事業 504千円
- ・サル監視員配置支援事業 1,442千円
- ・特定外来生物被害対策事業 14,000千円
- ・カワウ対策事業【拡充】 2,590千円
- ・野生動物保護管理国際シンポジウム（仮称）開催【新規】 2,412千円

平成27年度 自然環境課（野生鳥獣対策）予算額

- ・野生動物保護管理費 902,161千円  
(対前年度比 104.9%)



※イラスト（シカ）：兵庫県森林動物研究センター提供

[基本計画調査410ha、森林整備484ha]

・住民参画型森林整備[22ha] 28,050千円

## (2) 公共造林事業等活用事業 (H24～33年度)

奥地林など収益性が低く伐採が進まない高齢人工林について、帯状伐採し跡地に広葉樹を導入することにより、森林の公益的機能を高度に発揮する多様な森林として、将来的に広葉樹林へ誘導する。

・広葉樹林化促進パイロット事業

[更新伐20ha、作業道開設2km] 7,027千円

※造林事業の国補助残を県・市町が連携し公的負担

## 4 森林の保全・管理

### (1) 保安林の指導等

山地災害危険地区などの保安林指定を進めるとともに、公益的機能の維持・増進に資する保安林の森林施業の確保、標識設置や伐採等の行為制限による保安林管理体制の整備等を通じて、保安林の適正な管理、保全を図る。

・保安林等整備管理費 12,520千円

### (2) 無秩序な開発行為の規制

森林が持つ公益的機能を確保するため、地域森林計画対象森林における、無秩序な開発行為を規制し、森林の適正な利用を図る。

・林地開発許可制度実施費 1,830千円

### (3) 森林の保全

保安林及び林野火災の危険性の高い森林について、無許可伐採や違反行為の早期発見、林野火災の予防啓発、森づくり活動の指導などを目的として「森づくり指導巡視事務嘱託員」を配置し、森林の保安全管理を図る。

・新ひょうごの森指導巡視事業 7,843千円



赤穂市木津の大規模林野火災  
(写真提供：兵庫県消防防災航空隊)



森林（開発地）の巡視

## 5 森林病虫害被害対策

### (1) 松くい虫被害対策

①保安林等の公益的機能の高い松林や地域経済上重要な松林を防除区域と定め、特別防除、地上散布、樹幹注入等の予防対策と、伐倒駆除や造林事業（衛生伐）の駆除対策を組み合わせ、松林機能の保全を図る。また、被害を受けにくい松林を造成するため、抵抗性マツ『ひょうご元気松』10万本植栽事業（24～28年度）を継続実施する。

②環境へ配慮した防除を推進するため、駆除対策については特別伐倒駆除の実施拡大を行う。

○特別伐倒駆除：農薬の軽減及び被害木再利用のため、被害木を伐採後に破砕・焼却するべく、搬出可能な高度公益機能森林において実施する。

③景観の保全が必要な箇所において過年度枯れ被害木を伐倒処理する。

・予防対策（特別防除、地上散布、樹幹注入）

36,389千円

・駆除対策（伐倒駆除、特別伐倒駆除）

57,527千円

・ひょうご元気松10万本植栽事業 1,028千円

・森林病虫害防除予防推進費（薬剤防除自然環境影響調査、松林緊急実態調査等） 5,731千円

・県単独松くい虫被害等景観対策事業 5,471千円

### (2) ナラ枯れ対策

被害の範囲が拡大しているカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害については、被害の拡大を防止するため、被害先端市町において重点的な防除に努めるとともに、保安林等公益的機能の高い森林で防除を実施し、森林機能の低下を防止する。

・その他法定病虫害駆除事業

（ナラ枯れ被害対策） 10,150千円

（伐倒駆除（くん蒸）、噴霧剤処理（粘着剤塗布）、樹幹注入、粘着シート）

## 6 里山森づくり担い手支援事業（緊急雇用就業機会創出事業）

緊急雇用対策の一環として失業者を雇用し、既存の公的事业では手の行き届かない箇所において森林整備を行うことにより、地元要望にきめ細かく対応し、環境と景観の保全を図ることで美しい兵庫の森の創出に寄与する。

・里山森づくり担い手支援事業 50,000千円

平成27年度 豊かな森づくり課

主な事業 当初予算額

14,287,765千円（対前年度比122.8%）



## 平成27年度 豊かな森づくり課 予算の概要

県民共通の財産である森林の機能回復を社会全体で進めるため、平成14年度から「新ひょうごの森づくり」を推進しています。

また、特に森林の持つ防災機能強化を早期・確実に進めるために「県民緑税」を活用した「災害に強い森づくり」にも取り組んでいきます。

さらに、森林の保全・管理、森林病虫害被害対策にも取り組み、県民の安全・安心な暮らしを守る「生活を豊かにする森づくり」を促進します。

### 1 新ひょうごの森づくり・第2期対策の推進

森林の持つ公益的機能の高度発揮と、本来の経済林としての再生を進めるため、「新ひょうごの森づくり・第1期対策（平成14～23年）」をさらに継続・発展させ、「公的関与による森林管理の徹底」「多様な担い手による森づくり活動の推進」を基本方針とする「新ひょうごの森づくり・第2期対策（平成24～33年）」を推進しています。

#### (1) 森林管理100%作戦

間伐が必要な60年生以下のスギ・ヒノキ人工林について、国の公共造林事業による間伐及び作業道開設の補助残額を県・市町が連携して公的負担を行い、森林管理の徹底を図る。

- ・「森林管理100%作戦」推進事業 83,653千円  
間伐：6,200ha 作業道：70km
- ・暮らしを支える森づくり事業 22,616千円

#### (2) 里山林の再生

集落周辺の里山林において、地域住民等が自ら行う里山林整備及び植生保護柵の設置に対して、資機材費等の支援を行い、健全な森林への誘導を図る。

- ・住民参画型里山林再生事業 15,300千円

#### (3) 森林ボランティア活動促進

各ボランティア団体における次代のリーダーを養成する講座を実施し、森林ボランティア活動の継続とさらなる活性化を図る。

- ・森林ボランティア・リーダー養成講座の開催 776千円

#### (4) 企業の森づくりの推進

企業・団体等が社会貢献活動の一環として行う森林保全活動をさらに推進するため、（公社）兵庫県緑化推進協会の指導体制を強化し、多様な担

い手による森づくりを推進する。

- ・企業・団体等の年間活動計画等の策定に係る技術者派遣、研修会の開催 1,536千円

#### (5) 森林への理解と関心を高める普及啓発

森の大切さや森林整備の重要性について、子どもから大人まで広く県民の理解と関心を高め、森づくり活動へ誘うため、森づくり活動などを体験する参加型イベントの実施や森林環境教育を進めるとともに、地元と都市住民の交流の場、親子・家族が身近に自然と触れあえる場を提供する。

- ・「ひょうご森のまつり」の開催 1,000千円
- ・三木山森林公園管理運営事業 102,379千円
- ・ふるさとの森公園管理運営事業（6公園） 175,761千円

### 2 県有環境林の管理

乱開発の抑制等に貢献してきた先行取得用地等について、森林の公益的機能に着目し、県有環境林として適切な管理を行う。

- ・県有環境林管理事業 32,144千円

### 3 災害に強い森づくり・第2期対策の推進

森林の防災面での機能強化を早期・確実に進めるため、平成23年度から5年間延長された「県民緑税」を活用して「災害に強い森づくり」を推進する。併せて、平成24年度からは、国の公共造林事業等を活用した「広葉樹林化促進パイロット事業」を推進している。

#### (1) 県民緑税充当事業・第2期対策（H23～29年度）

- ・緊急防災林整備 1,009,962千円  
[斜面对策：919ha、渓流対策：調査68箇所、森林整備48箇所]



土留工の設置



簡易流木止め施設

- ・里山防災林整備 494,904千円  
[基本計画調査315ha、整備285ha]
- ・針葉樹林と広葉樹林の混交林整備 321,000千円  
[計画調査設計329ha、作業道開設165ha、広葉樹植栽256ha]
- ・野生動物育成林整備 431,870千円

提案型集約化施業を推進するためのコスト分析への支援と  
作業道開設にかかる現地検討会の実施

但馬県民局 朝来農林振興事務所

一 はじめに

当管内では、未利用木材を燃料とするバイオマス発電所の建設が平成28年9月の稼働を目指して計画されており、兵庫県森林組合連合会が事業主体となり、発電所の燃料となるチップを生産する工場と原木のストックヤードの建設工事が急ピッチで進められています。そのような中、兵庫県森林組合連合会においては、県内各地の素材生産について各単組とヒアリングを行うなど、より安定的な原料確保に向けた体制づくりを進められているところです。

朝来農林振興事務所では、県森林の取り組みにあわせて、管内の各森林組合のヒアリングに立ち会い、今後の素材生産とりわけ搬出間伐の推進において必要不可欠な作業日報の記載と、それを基にしたコスト分析を行うためのエクセルシート（通称間伐シート）の記入について普及指導員が支援を行いました。

さらに、提案型集約化施業を推進するために重要な要素となる作業道の開設について、現地検討会を行いました。

二 コスト分析について

管内の森林組合の搬出間伐に携わっている職員を中心にあらかじめ間伐シートを送付し、基本的に職員において記載してもらい、進捗の状況を普及指導員が逐次チェックを行いながら作成を進めていきました。

森林組合によっては、ほとんど普及指導員の支援がなくても、間伐シートの記載から収支が均衡する年間の事業量を算出できるところもあれば、通常の業務と並行しての作業であることからか、なかなか作成が進まないところもありましたが、普及指導員のつかずはなれずの粘り強い指導のもと、作業日報からのコスト分析と年間の事業計画につながる資料を作成することができました。

三 作業道現地検討会について

提案型集約化施業を行うにあたって、コスト分析と同様に主要な要素となる作業道の開設については、作業道を単なる工事として捉えるのではなく、森林組合における森林施業の手段としての作業道開設であることを念頭におきながら、開設を行うことを考えることができるよう検討会を開催しました。

講師は、提案型集約化施業の第一人者であるとともに、国における森林作業道設計指針の作成にかかわる委員も務められた京都府日吉町森林組合理事の湯浅勲氏により、延べ三日をかけて、作業道の開設にかかる基本的な考え方からヘアピンカーブの取り方などについて森林組合職員と熱心に指導、検討をいただきました。



現地踏査実習  
(平成27年3月)

参加した森林組合の職員からは、地質の基礎的なことについて改め

て勉強したいといった声が多く聞かれました。

なかでも、作業道をどう開設するかを考える前に、森林所有者の方々にその森林をどのようにするのか、また、どれだけの経費がかかるかが可能であるのかを考慮提案することが重要であるとの講師のお話にも普及指導員ともども認識を新たにしました。



講義の様子  
(平成27年3月)

四 おわりに

今後、新たな木材の需要が見込まれるなか、素材生産の担い手の要となる森林組合において不可欠なコスト分析と搬出間伐のための作業道の開設の取り組みは、始まったばかりです。

なんとかこの需要を契機に多くの森林に対し、よりよい施業が行えるよう、今後も粘り強く普及指導を行なっていきたいと考えています。

## 森林ボランティア活動

### 里山放置林を市民の憩いの森・自然体験学習の森へ

菊炭友の会 代表 大門 宏

表紙の桜は、私たちの活動地、川西市【黒川・桜の森】のシンボルツリー、野生のエドヒガン【黒川・微笑み桜】です。

エドヒガンは兵庫県では絶滅危惧種に指定されています。ソメイヨシノ等栽培種と異なり、野生種は早咲き、遅咲きで10日位の差があり、花の色も白っぽいもの、赤っぽいものなど個性豊かです。花は3月末から4月上旬まで楽しめます。



黒川の里山は昭和20年代までは薪炭生産林として、人の生活に密着していました。近年、生活形態が変わり、山は放置され、エドヒガンの大木にも蔓が大蛇のように絡みつき、周辺は笹や雑木で覆われ、ジャングル状態でした。全国でも珍しくエドヒガンが群生しているため活

動地を【黒川・桜の森】と名付け、地元と整備協定を結び、平成18年8月から、エドヒガンの救出も兼ねて森の整備を開始しました。

笹藪を刈り、藁を切り、枯損木の伐採整理をし、8年で明るく風通しの良い里山に戻ってきました。春には多くの花見客、年間を通してハイカーが訪れ、自然体験学習の場として利用できる生物多様性豊かな森になってきました。



また、黒川はクヌギの炭・菊炭の生産地として古くから有名で、今も茶道になくはならぬ炭として焼き続けられています。しかし、過疎・高齢化でクヌギ林の手入れが充分でなく貴重な台場クヌギ林が笹に埋もれていきます。私たちはクヌギ林を伐採し、炭焼き後は下草刈りを続け、良質のクヌギ林へと再生しています。

これらの整備に要する資金は薪炭の販売で捻出できるようにしました。

## 平成27年度狩猟免許試験のご案内

兵庫県では、今年度も次のとおり狩猟免許試験を実施します。多くの方が免許を取得されますよう、ご案内いたします。

### 【狩猟免許とは】

狩猟期間中にシカやイノシシなどの狩猟鳥獣を捕獲するのに必要な資格です。

また、県や市町の許可を受けて実施する有害鳥獣捕獲にも原則的に必要です。

### 【狩猟の楽しみと公益性】

狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。

### 【免許の種類】

- ・ 網猟(主に鳥類)
- ・ わな猟(獣類のみ)
- ・ 第一種銃猟(装薬銃、空気銃)
- ・ 第二種銃猟(空気銃)



### 【試験の日程と場所】

#### 1回目

#### ○申込期間

6月8日(月)～6月26日(金)



### 【お問い合わせ先】

(一社)兵庫県猟友会  
(〇七八一三六一八一二七)

- 知識・適性・技能試験日及び場所
- 7月25日(土) 姫路
- 7月29日(水) 神戸
- 8月2日(日) 養父・淡路
- ※養父・淡路は「わな猟試験」のみ実施。
- 2回目
- 申込期間
- 7月27日(月)～8月14日(金)
- 知識・適性・技能試験日及び場所
- 9月5日(土) 神戸
- 9月9日(水) 姫路
- 【お問い合わせ先】
- 各県民局(森林)林業課又は農政環境部
- 自然環境課(〇七八一三六二一三四六三)

### 初心者講習会のご案内

一般社団法人兵庫県猟友会主催で、試験前の6月6日(土)と6月13日(土)、6月20日(土)、8月1日(土)、8月22日(土)に、これから狩猟免許試験を受験される方を対象にした、知識・技能に関する初心者講習会が実施される予定です。

明日の林業を支える

# 林業作業士 十九名誕生

(公財) 兵庫県営林緑化労働基金 (林業労働力確保支援センター)

兵庫県林業労働力確保支援センターでは、平成26年度も森林整備加速化・林業再生基金を活用して「林業基幹技術者研修」を実施し、下記の19名の方を「兵庫県林業作業士」として認定しました。

業架線研修のみの受講生を含めて20名が合格しました。



閉講式の記念写真 (12/22)

この研修は、将来の地域林業の担い手にふさわしい方を対象に、林業に関する幅広い知識と専門的な技能を修得してもらうことを目的に実施しているものであり、平成26年度は7月2日から12月22日の間、延べ52日間にわたり、木材の流通・加工、路網整備、低コスト作業システム等素材生産を中心とした林業の基礎的知識を習得するとともに、国の研修修了者名簿に林業作業士(フォレストワーカー)として登録するのに必要な労働安全衛生に係る特別教育や安全教育、各種の技能講習等を修了しました。

- |           |      |
|-----------|------|
| 北はりま森林組合  | 布一和也 |
| 中はりま森林組合  | 手塚貴雄 |
| 中はりま森林組合  | 奥村真希 |
| (有)カミカワ興産 | 橋本郁也 |
| (株)グリーン興産 | 縄手政樹 |
| (株)グリーン興産 | 谷川誠  |
| (株)グリーン興産 | 中路充彦 |

- |           |       |
|-----------|-------|
| はりま西森林組合  | 今川浩一  |
| はりま西森林組合  | 國重昌則  |
| 佐用郡森林組合   | 立道栄治  |
| 養父市森林組合   | 米田宏   |
| 養父市森林組合   | 西田慎太郎 |
| 養父市森林組合   | 中山章   |
| 養父市森林組合   | 池田潤一  |
| 養父市森林組合   | 門垣和樹  |
| 養父市森林組合   | 中島正和  |
| 丹波ひかみ森林組合 | 十倉文太  |
| 丹波ひかみ森林組合 | 梅津恒雄  |
| 山本木材      | 山本竜矢  |
- この研修では、講師の方々を始め、森林林業技術センター、兵庫みどり公社西播磨事務所、関係林業事業体の皆様に大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。
- なお、この研修が始まったのは昭和56年度ですが、その後、時代の要請に応え、事業名称や研修内容、研修期間等を変更しながら継続して実施してきました。この林業基幹技術者研修は平成18年度に始まり、この9年間で94名(全体では346名)の兵庫県林業作業士を認定し、県下各地域に送り出してきましたが、平成26年度をもって終了することになりました。これらの方々の方々の今後の地域での活躍を期待しています。

## Husqvarna

550XP-JP/XPG-JP

レッドトッド・デザイン賞2013  
ベスト・オブ・ベスト受賞製品



■排気量：50.1cm<sup>3</sup>  
■出力：2.8KW

AutoTune

■質量：4.9/5.1kg(XPG)

## 本当の価値が分かる方へ!

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェンソーの最高峰です。革新的な技術を融合し、これまで以上のパワーでさらなる軽量化に成功した500シリーズをぜひお試しください。

### 愛林興業株式会社

本社	姫路市飾磨区恵美酒294-3	TEL(079)234-8181番代
神崎店	神崎郡神河町吉富1409-2	TEL(0790)32-0570番
但馬店	養父市上野1357	TEL(079)664-2101番

## 平成 27 年度 技能講習会等実施計画

区分	名称	実施年月日	場所
技能講習	木材加工用機械作業主任者	27年 7月 2日 ～ 3日	姫路労働会館 (姫路市北条)
	はい作業主任者	27年 8月11日 ～ 12日	姫路労働会館 (姫路市北条)
特別教育	伐木等(大径木等) 「チェーンソー作業 従事者特別教育」	27年 7月16日 ～ 17日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
		27年10月 1日 ～ 2日	
		27年12月 3日 ～ 4日	
特別教育	車両系木材伐出機械等 運転業務 3教育一括講習 〔伐木等機械 走行集材機械 簡易架線集材装置(架線集材機械)〕	<学科> 27年 9月 3日 ～ 4日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
		<実技> 27年 9月 9日 ～ 11日	中はりま森林組合 製材工場構内 (神崎郡神河町)
安全衛生 教育	刈払機取扱作業 安全衛生教育	27年 8月28日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
		27年11月13日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
		28年 1月22日	三木山森林公園 (三木市福井)

※講習会のご案内は開催日1ヶ月前を目処にWEBサイト上などで行います。  
HPアドレス：<http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaibou/>  
※開催予定の講習会は、都合により日程等を変更する場合があります。

1 はじめに  
当支部では、林業・木材製造業の労働災害防止のため、労働安全衛生法に定められている林業・木材製造業の作業の従事に必要な技能講習会等を次のとおり開催しますので、関係する方々の受講を是非お願いします。

2 実施計画

3 お問い合わせ先・申込先  
〒650-0012  
神戸市中央区北長狭通5-5-18  
林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部  
会 兵庫県支部  
(兵庫県木材業協同組合連合会)  
☎078-371-0607

## 平成27年度の技能講習会等のご案内

林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部

## 安全はプロへの第一歩



〒675-1307 小野市菅田町南野739-14

**キャタピラー教習所 0794-67-2211**



## 住化グリーン的林業薬剤

### 松枯れ予防剤

ヤシマモリエートマイクロカプセル  
スミバインMC

### 竹駆除薬剤

クロレートS

### 松枯れ少量樹幹注入剤

マッケンジー

### ヤマビル資材

マリックスター(ヤマビル駆除剤)  
ヒルノック・エコ(ヤマビル忌避剤)

### くん蒸剤

ヤシマンCS

### ナラ枯れ予防樹幹注入剤

ケルスケット

### 蜂資材

ハチノックL(蜂巣退治用)  
ハチノックS(蜂撃退携帯用)



**住化グリーン株式会社**

本社 東京都中央区日本橋小網町1番8号

大阪営業所：大阪市淀川区西中島7-1-26

TEL：06-6886-0241/FAX：06-6886-0242

## 緑を育み水をつくる水源林造成事業



法令改正により、旧・独立行政法人森林総合研究所は、平成27年4月1日から、国立研究開発法人森林総合研究所に名称変更します。

国立研究開発法人森林総合研究所  
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL(078)371-2411  
FAX(078)371-2413

兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)371-2446

神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号

### 平成27年度「安全衛生関係講習会」実施予定表

名称	実施年月日	会場	名称	実施年月日	会場
木材加工用機械作業主任者技能講習	H27.7.2~3	姫路労働会館(姫路市)	チェーンソー(大径木等伐木)作業従事者特別教育	H27.4.16~17 H27.7.16~17 H27.10.1~2 H27.12.3~4	中はりま森林組合(神河町寺前)
はい作業主任者技能講習	H27.8.11~12	姫路労働会館(姫路市)	刈払機取扱作業安全衛生教育	H27.4.24 H27.8.28 H27.11.13 ※H28.1.22	中はりま森林組合(神河町寺前) ※三木市で実施
車両系木材伐出機械等運転業務特別教育	<学科> H27.9.3~4 <実技> H27.9.9~11	中はりま森林組合(神河町寺前) 中はりま森林組合(神河町寺前)			

※詳細は、当支部のウェブサイトをご覧ください。 ※講習会は、都合により日程等を変更する場合があります。

#### 林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号

Tel:078-371-0607 Fax:078-371-7662 URL:<http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaibou/>

### 「新緑の氷ノ山林道自然観察ウォーキング」に参加しませんか

対象：県内にお住まいの方で、8:00林業会館前(元町駅から徒歩5分)集合できる方

日時：平成27年5月26日(火)~27日(水) 定員：40名(定員を超えた場合は抽選)

参加費用：10,000円(バス代、1泊4食代、資料代、保険料等)

申込方法：往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入

1通で2名まで申込可(2名の必要事項記載の事、重複不可)

申込締切：5月1日(金)必着

問い合わせ申込先：(一社)兵庫県治山林道協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632 HP <http://www.chisanrindou.jp>



### 「緑の募金」にご協力をお願いします

緑の募金は地域の緑化活動への助成やボランティア団体への助成を行っています。ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

#### ご寄付の方法

##### ●郵便振込(手数料無料)

郵便の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。

##### ●銀行振込(振込手数料が必要)

口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所  
普通 3198438

名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会



春季募金運動期間  
3月1日~5月31日



#### 公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18  
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071  
URL : <http://www.hyogo-green.net/>

# エムシー緑化の 林業用薬剤

ススキ ササ地に

松枯防止樹幹注入剤

**フレック**<sup>®</sup> 粒剤10

**マツガード**<sup>®</sup>

発売元 **正和商事株式会社**

大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045  
TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347

**私たちは、緑を育て、緑を守っています。**



〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 5-5-18

兵庫県森林組合連合会

TEL : 078-341-5082

FAX : 078-341-6936

E-mail : hyogomori@hyogomori.jp

HP : <http://www.hyogomori.jp/>

**“治山・林道測量”**

株式会社

は経験と実績のある

石 原 測 量

コンサルタント

SK  
I



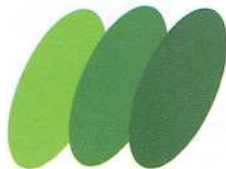
本 社 兵庫県宍粟市山崎町 船元250-1

Tel (0790) 63-1377

Fax (0790) 63-1398

営業所 兵庫県姫路市夢前町筋野1078-3

Tel (079) 336-1418



株式会社

**グリーン興産**

土・木・緑・そして人

とりもどそう 人にやさしい環境

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003

Tel 0790(72)1553 Fax 0790(72)2327

URL <http://www.greenkousan.co.jp>

E-mail : [info@greenkousan.co.jp](mailto:info@greenkousan.co.jp)

**みどりの集い.com あなたと共に未来へ続く森林づくり**

## 兵庫の巨樹・巨木(13)

⑬ ヤマザクラの古木見つかる

【幹周341cm、根回り374cm、樹高17mと300cm、364cm、15m】

たつの市新宮町曾我井の山腹

兵庫県は広く北は日本海の風を南は太平洋の風を受けて豊かな自然が残されている。今回はその中でサクラ属のヤマザクラについて記述してみよう。

兵庫県の自生のサクラ属はヤマザクラ、カスミザクラ、エドヒガンザクラ、オオヤマザクラ、キンキマメザクラ、少し前までは咲き方が少し異なるウワミズザクラ、イヌザクラ、そしてサクラの名は付かないがリンボク、バクチノキも近縁で含まれていた。

その桜の中の桜がヤマザクラで、県内では最も多い桜である。その最大株はこのシリーズの第1回目で紹介しているが、最大株の幹周は525cm（豊岡市竹野町）、次いで490cm（豊岡市但東町・但し倒木後枯死）、第2位となったのが480cm（丹波市春日町）である。続くのが336cmの丹波市市島町であったが、

今回たつの市新宮町の山腹に第3位に相当する株が発見された。発見者は地元地域活動等に熱心な自治会長さんの芳野俊通さんである。山麓から山腹まで、周辺はスギ、ヒノキの植林地であるがその尾根近くにヤマザクラの古木が2本残されていたのである。

元は地区共有の山地で、芝刈り



新宮町で見つかったヤマザクラの巨木とその花(下段)

等に利用されていたが、近年になってその利用がなくなり、県の造林公社がスギ、ヒノキの植林を進めてきた山域である。

大きい方の株が幹周341cm、根周り374cm、樹高17m、もう一つの株が同300cm、364cm、15mである。後者の株も県下では7番目に相当する。

ヤマザクラと言えばNHKでドラマ化もされて有名な、水上勉作「桜守」の主人公・笹部新太郎が浮かんでくる。笹部は東大法学部時代から桜の研究に入り込んだ人。葉と花が同時に開き、その風情が日本人の心と一致する。日本の桜はヤマザクラだ。とその一生を桜文化の研究と繁殖に献げた人である。

岐阜県の御母衣ダム建設ではダム湖に沈む運命にあった庄川桜をダムサイトの上まで移植した偉人でもある。依頼をした関電の初代総裁は成功を祝ってその地名をつけて庄川桜（種はエドヒガン）と命名した。現在でも毎年旺盛な開花が見られる。

その主人公の笹部は晩年を神戸市東灘区で過ごし、その邸宅跡が



現在は神戸市立の笹部公園となって保存され、笹部自身が発見命名したササベザクラやオカモトザクラ等が残されている。現在日本には自然分布の原種九種を基本に多くの雑種が形成され数百といてもよいほどの系統が名付けられて普及している。その基本種の代表がヤマザクラである。

あおに良しナラのミヤコは咲く花のおふが如く今さかりなり

（小野 老）

しきしまのやまと心を人とはば朝日におふ山ざくらかな

（本居宣長）

・・・と詠まれた古歌も多い。

樹木医 橋本光政  
樹木医 宮田和男  
樹木医 塩見晋一  
（前森林林業技術センター）